ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行２０２４年７月１日

７月　２６９号

奈良・人と自然の会

＜佐保台小学校５年生の田植え＞

Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL http://www.naranature.com

ならやまプロジェクト	１	海外ボランティア（パラグアイ１０）	７
Monthly Repo　ならやま	２	病害虫講座（ブルーベリー）	８
里山の今（パト、果樹）	３	ならやま投句箱	９
月例研修会（宇治）	４	行事案内・奈良学クイズ	１０
田植え・レポ	５	幹事会報告、こもれび	１１
古墳のロマン（２）	６		

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず
あなたも私も・力合わせて

遅い梅雨がやってきた。梅雨が遅く、短いと豪雨が多くなるとか。その通り、しとしととした風情ある雨はほとんどなく、降れば洪水や土砂災害を心配しなければならない。温帯気候も消えてしまうのか。

梅雨が過ぎれば暑さは本番を迎える。今年は「熱中症*特別*警戒アラート」も発表されることになった。このような状況になればならやまの活動を中止するしかない。健康と安全を守るためには致し方ない。

夏休みを迎える子どもたちは 7 月のイベントを楽しみにしているだろう。酷暑にならず何とか実施できることを願う。

梅雨を彩る緑陰広場のアジサイたち

夏時間：7 月 4 日から当分の間、活動時間は 9:00～12:30 となります。

7 月の活動特記事項 活動日： 4（木）, 11（木）, 18（木）, *27（土）*

7 月 4 日（木）：　協働活動　アダプトプログラム

7 月 20 日（土）：　夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！イベント　　雨天順延（27 日）

7 月の各グループ活動予定

グループ	活 動 予 定
里 山	イベント準備とその片付け 里山林内整備（No.22～24、A 地区、アカマツ林）、薪割り
エコファーム	水田の除草 じゃが芋・玉ねぎ跡地整備、スイカ防獣防鳥対策、鹿対策ネット整備 落花生手入れ、さつま芋移植、ナス支柱建て、サトイモ除草・灌水 カボチャ、唐辛子などの収穫　　畑へのチップ入れ
景 観	整備：BC 周辺、自転車道沿いの草刈り、蜜蜂巣箱点検整備 ビオ：池・水路の景観保全・整備、西池水生生物調査 花：自転車道沿い花壇、山野草園の草引き
パトロール	1～3 コースパトロール、イベント準備 観察路整備、笹草刈り、丸太階段安全ロープ張り
果 樹	実りの森の草刈り、土壌改良、灌木整理、コンポスト作り ブルーベリーへの散水

活動日： 第 4 土曜日およびその他の週の木曜日 9:00～12:30（7 月 4 日から当分の間）

前日の 19 時現在の気象庁予報（NHKTV 奈良　19 時前放送）の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率 60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止

Monthly Repo.　ならやま

冨井 忠雄

５月 23 日（木）晴　２名+近大生３名

ビオ班と近畿大学が定期調査、ザリガニ駆除、ビオエリアの刈り取った雑草の撤去。

５月 25 日（土）晴　47 名

真竹の筍が豊作。

里山Ｇは No.24 区画で伐採した赤松を使って BC の桜の下に椅子とテーブルを設置、薪割りなど。エコＧはサツマイモ植付け、水田の畔板敷設、ほうれん草などの収穫。景観Ｇは真竹の筍の収穫と竹林、第３駐車場付近の整備。花班は第２駐車場横の花壇の草引きなど。ビオ班は水田の畔板敷設の手伝い、ザリガニ駆除。パトロールＧは観察路２コースのパトロール、エントランスの花壇の草刈り、自然の森の観察路の倒木処理など。果樹Ｇは桑の実の収穫、山椒の植付け、テント倉庫の補修。

５月 30 日（木）晴　68 名+3 名

昼食後にシニア向け安全講習会を実施し、シニアにありがちな事故について周知。

京都大学）徳地先生ほか２名が来訪、里山研究のための土壌サンプル採取に協力することが紹介された。

里山Ｇは No.24 地区の松の枯死木の伐採、薪棚更新工事など。エコＧは田植えの準備、スイカのあんどん立て、小松菜、タマネギなどの収穫。景観Ｇは佐保自然の森の草刈り、BC 西側の竹林の整備。花班は自転車道沿いの草引きなど。ビオ班は里山研究の土壌採取に参加、ザニガニ駆除。パトロールＧは観察路３コースのパトロール、観察路の草刈りなど。果樹Ｇは桑の実の収穫、チッパー作業、実りの森除草など。

６月６日（木）晴　72 名
+佐保台小学校５年生 30 名+先生３名

協働活動はエコＧが中心となった佐保台小５年生による 16 回目の田植え体験と、里山Ｇが中心となったシイタケ榾木本伏せ、天地替え。

里山Ｇはシイタケの榾木本伏せ、No.24 区画の枯死木の処理、間伐、薪割り。エコＧは田植え、じゃが芋畑の除草、タマネギなどの収穫。景観Ｇは椎茸本伏せ、佐保自然の森の除草、機械器具の整備。花班は自転車道沿いの花の撤去と草引き。ビオ班は田植え、ザニガニ駆除。パトロールＧは協働活動のほか、観察路１コースのパトロール、観察路笹草刈り。果樹Ｇは協働活動のほか、コンニャク畑の除草、実りの森草刈りなど。

６月 13 日（木）晴　73 名+1 名（新田氏）

果樹育成指導に新田さんが来訪。

里山Ｇは自然の森、観察路沿いの危険木の処理、松の間伐、薪割り。エコＧはナスの苗の定植、カボチャ、里芋畑の除草、タマネギ、じゃが芋などの収穫。景観Ｇは観察路の谷道沿い、彩の森の草刈り、竹林のチッパー作業。花班は山野草園草引きなど。ビオ班はビオエリアの整備、竹林の筍の除去など。パトロールＧは景観Ｇの協力で谷道の草刈り、里山Ｇの協力で枯死木を処理、観察路２コースパトロール。果樹Ｇは新田さんを招き現地講習会、ウメが盗難に遭ったみたい？　実りの森の草刈りなど。

６月 20 日（木）晴　１名+近大生２名

ビオ班と近畿大学が定期調査、ザリガニ駆除

パトロールグループ

ならやまは元気いっぱい！
さあ、草刈りだ！

山上 伸子

小さいけれど植生豊かなならやま・・

１週間でびっくりするほど草木が繁る観察路‥あっという間に通行困難！ ジャングルになる。

６月の活動日、午前中はメンバーが別れて、各々協働活動の椎茸のホダギのたてかけ作業＆天地返しのお手伝い、佐保台小学校の田植えのサポート、１コースのパトロール、６月 29 日（土）開催予定の佐保台小学校の「放課後子ども教室」に備えて観察路の整備を行う。

イベントの時に歩く観察路を中心に刈り込みを行うが、伸び盛りの草木はなかなかの強敵である。倒木処理もできるだけパトロール班で賄う。

「放課後子ども教室」の今年のテーマは「自然をいっぱい楽しもう！ 」だ。午前中にならやま観察路を歩き葉っぱや枝や木の実等を採集、午後からはそれらを使って壁掛けを作成予定である。子どもたちの豊かな発想力に期待!!　保護者も参加予定で、親子の会話が弾むと嬉しいな～と思う。

午後からは担当花壇の花の植え替えや、「放課後子ども教室」に備えて、観察路周辺の銘板付けを行う。

イベントを通じて、山好き・自然好きの子どもたちが増えると嬉しいなあと思いながら汗を流しました。

里山の今

果樹グループ

果樹グループ期待の星

新種「ゆら早生ミカン」登場

古川 祐司

今年、果樹グループ全員の期待を担って植え付けた新種のミカン苗がある。名前は**「ゆら早生ミカン」**。この３月 14 日に待望の苗木９本が入荷し、実りの森の一等地に植え付けられた。

「ゆら早生」は、1985 年に和歌山県由良町で誕生し、1995 年に品種登録された新顔のミカンである。収穫時期は 10 月中旬と非常に早い。重さは 115g 程と小ぶりだが、糖度と酸味のバランスが抜群に良い。通常、早生種みかんは薄味だが、本品は「甘味やコク」がしっかりしている。当時会員だった柴田さんに紹介され、試食したメンバー全員が、その味と風味にほれ込んで、実りの森に植えることに決めたものである。

植える場所の選定には苦労があった。実りの森の理想的な場所を確保するために、既存の「グミ」の大株２本を引越しさせることにし、３カ月がかりでベースキャンプの場所へ移植した。

確保したこの場所、いざ植え付ける穴 30 ㎝掘り下げてみて驚いた。何と 15ｃｍ程の深さに水が溜まるのだ。これでは大切なミカンの苗は根腐れする。そこで、昔の古墳築造に倣って、周りに濠を掘り、その土を盛り上げて台状の植塚を造ることにした。

肝心の苗木は、１年前から育苗家に手配したお陰で、見るからに元気のいい逞しい苗木が到着した。３月 14 日、植え付けの日。前会員の柴田さんにも立ち会って頂いた。我々苦心の植え床を検分され、これなら大丈夫と太鼓判を頂き、期待の星「ゆら早生みかん」の植え付けが無事完了した。

一列に並んだ「ゆら早生ミカン」。それが枝もたわわに実る景色を想像して浮かれる我々に、柴田さんから厳しいご注意が出る。「先ずはしっかりした樹を育てることが第一。５年間は花や実を付けさせないで摘花、摘果を励行して下さい。今後も時々検分に来させて頂きます」

あと五年　・・・！！　また一つ楽しみな、またある意味では厳しい目標ができたことである。

月例研修会レポ（宇治）

新緑の宇治川で宇治十帖を感じる旅

冨江 文雄

2024 年 6 月 4 日
時間：9：30－15：00
行程：JR 宇治駅―橘橋―中之島―喜撰橋―白山神社―もみじ谷―天ヶ瀬吊り橋―琴坂・興聖寺―宇治神社―宇治上神社―源氏物語ミュージアム

新緑の宇治を巡る旅として企画されたが、今 NHK 大河ドラマで源氏物語が取り上げられていることもあってか、30 人という多くの会員が集った。快晴のもと宇治の商店街を抜けて宇治川のほとりに出る。前夜の雨で増水した天ヶ瀬ダムからの放水があって、とうとうと音を立てて流れる宇治川に圧倒された。

宇治橋のたもとに座る紫式部像は工事中で近づけず、橘橋を渡って中之島を歩き、十三重石塔で記念写真を撮った。

喜撰橋を渡って「あじろぎの道」を天ヶ瀬ダムの方向に川に沿って歩く。蛍塚辺りから上りの道を、白山神社に進む。脚に自信のない数人はもみじ谷で待つことにした。白山神社からの下り坂は足元が悪く、かなり危険であったので、二手に分けたのは正解。

もみじ谷で昼食。

池田さんが作って持って来て頂いたならやま産の真竹の‘タケノコ寿司’は珍しく且つ美味であったし、福田さん手製のいなり寿司もおいしく賞味できた。

午後は天ヶ瀬吊り橋を渡って宇治川右岸を歩き、途中‘亀石’を見たりして琴坂・興聖寺へ。

みどりのトンネルで有名な琴坂を登り、訪れた興聖寺は堂々たる曹洞宗の本山で、丁度本堂では 40 人以上のお坊さんがお経を唱えておられるところに遭遇、この日は何かの宗派の催しがあったものと思われる。

還流橋は,水力発電所から落ちてきた水が宇治川に注ぐところにある橋であるが、その水量の多さに驚かされた。

宇治神社、宇治上神社を続けて参拝の後、山道を抜けて源氏物語ミュージアムに移動した。

ミュージアムにはほとんどの人が入場し、宇治十帖の短編映画を見て、3 時には予定通り終了した。

宇治十帖が感じられたかどうかは分からないが、新緑の宇治を満喫できたものと思う。

田植え体験学習レポ

佐竹 樹之

準備を終えた田圃で、児童たちを待つ間、初夏の日差しはあるものの、時折吹く涼しい風に心身共に癒されながら会員同士で歓談などしていました。

10時頃、佐保台小学校五年生30名が、先生引率の元、到着しました。田んぼの横で、先ず児童たち代表の挨拶があり、次いで千載会長の「今日植えた苗は、10 月頃には立派な稲穂に育ち、稲刈りをします。楽しみにしておいてください」との、挨拶がありました。

10時15分頃、鈴木顧問から、資料を使いながら、「植える時の苗の本数」「植える深さ」「植える位置など」の説明があり、児童たちは、静かに聴いていました。その後、たすき担当者が、児童一人一人にたすき掛けをし、はだしになりました。

10時20分頃、北側の田んぼに男子、南側の田んぼに女子が、それぞれスタート位置に移動しました。二枚の田んぼには、予め東西方向に白い紐が 90ｃｍ間隔で張られています。児童たちは、その紐の間に一人ずつ入り、西側から植え始めました。田んぼの北側と南側の畦に、30ｃｍ間隔で赤い印が付いたロープを引っ張る担当者が配置され、先ず田んぼの西端から30ｃｍ東にそのロープを張り、一列目の苗を児童一人が、二本の白い紐の間に有る赤い印に３か所ずつ植えていきます。続いて更に 30ｃｍ東にロープを移動して二列目を、更には三列目という具合に、次々と緑の早苗が東へと広がっていきました。児童たちの中には、苗を５本以上持つ人、指で地面に差し込まず、置くだけの人もいました。そうした場合は、見守り担当者が適宜アドバイスをして、順調に進められました。最初は、ぎこちなく植えていた児童も、進むごとに慣れてきて、表情がどんどん変わっていき、はだしで田植えをするのが楽しそうでした。

11時頃、少し遅れて女子も東端まで植え終わり、畦に上がった児童から「また田植えしたい」との声を聞いた時は、こうした田植えが出来て本当に良かったと思いました。その後で、無事に田植えを終えた感謝と豊作を願って、田んぼの神様に花を手向けました。

11 時 10 分頃、児童たちは洗い場で、泥などを洗い流し、到着時のように集合しました。児童たちへのお土産として「桑の実」を差し上げると、「おいしかったです」と大変喜んでいました。鈴木顧問から「皆さん一人一人の感想は、後日拝見出来ると聞いていますので、大変楽しみにしています」と挨拶がありました。又、児童からは、こうして活動が出来たことへの感謝の挨拶がありました。

11時20分頃、児童たち全員が、事故なく活動を終えて、先生の引率の元、学校への帰路に就きました。児童たちが居なくなった田んぼを振り返ると、緑の早苗たちが起立し、その影が水面に映り、一気に初夏の風情に変わりました。こうして、今年も皆さんのお蔭で無事に田植えを終えることが出来ました。皆さん有難うございました。

古墳のロマン（２）

（大和の大型古墳群）

坂東 久平

富雄丸山古墳の第７次発掘調査で木棺が取り出された。割竹形木棺がほぼ完全な形で出土することは希で、内部構造などの解明に貴重な資料となった。

副葬品としては青銅鏡 3 面や縦櫛 9 点を出土したが、期待していた大発見は無かった。人骨は確認されなかったが、リンの痕跡から人体埋葬があったと推定される。

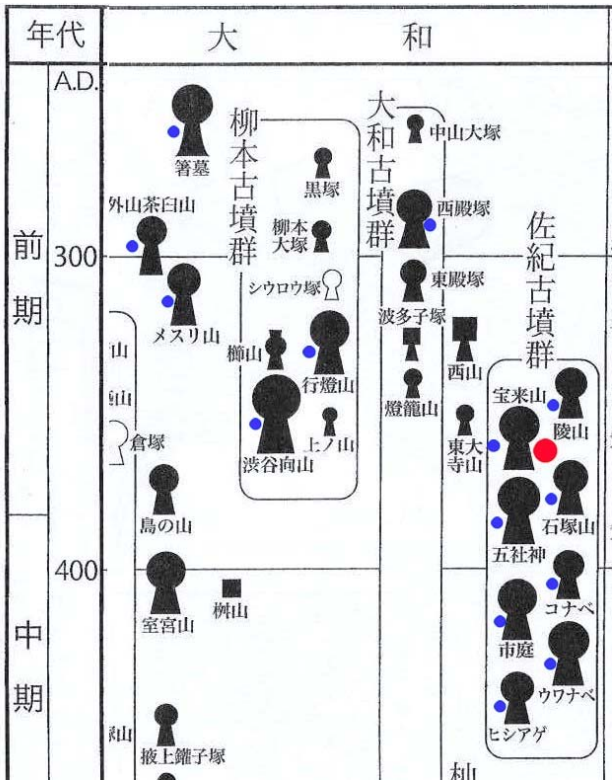
富雄丸山古墳は直径 107ｍの**円墳**ではあるが、**国内最大の大きさ**である。築造時期は４世紀後半と推定されており、大和の大型古墳の築造時期との関連について考えてみた。

大和古墳群の大型古墳（青丸）：年代順に箸墓古墳、西殿塚古墳、桜井茶臼山古墳、メスリ山古墳、行燈山古墳、渋谷向山古墳は、卑弥呼から崇神天皇に至る時期に存在した初期ヤマト王権の王陵ではないかと推定している。

佐紀古墳群の大型古墳（青丸）：年代順に陵山古墳、宝来山古墳、石塚山古墳、ヒシャゲ古墳は、初期ヤマト王権に関わる陵と考えられる。五社神古墳、コナベ古墳、市庭古墳、ウワナベ古墳などは、王権に関わる媛の墓と考えられる。

（ヒシャゲ古墳、ウワナベ、コナベ古墳）

大型前方後円墳の編年



（青丸は主な大型古墳、赤丸は富雄丸山古墳）

陵墓は被葬者の出身地や支配地に置かれるのが一般的である。垂仁天皇の陵墓（宝来山古墳）とニギハヤヒの墓（富雄丸山古墳と推定）は、共に西の京にあり、築造時期も近い。両者の支配地、出身地が同じと思われる。

垂仁天皇は崇神天皇の第３子となっているが、入り婿であり、都の北部地区を抑え、万全でなかった初期ヤマト王権の安定のために尽くした。ニギハヤヒは垂仁天皇の右腕として、武力を持って働いたものと推定される。

（坂東私見）：古墳オタクの呟き

富雄丸山古墳の被葬者（ミスターＺ）は物部氏の祖である「ニギハヤヒ」ではないだろうか？

張り出し部の被葬者は「ニギハヤヒ」の巫女かもしれない？

（参考文献）

＊白石太一郎　大型前方後円墳の編年（2013）
＊梅原章一　古墳空中探訪(2018)

海外ボランティア活動体験記-10

パラグアイ（1997-2002）

木村 裕

クリスマスは１年で最も大きな行事です。逆に１月１日は年度替わりのたんなる休日。

12 月も 20 日を過ぎるとクリスマス気分が高まってなんとなく浮つき、皆さん仕事に実が入りません。24 日は半日勤務でちょこっと顔を出しておわり。

25 日は休日で、家族、親戚が集まって食事とおしゃべり、そしてダンス(サンバやゴーゴー)。町の中では暑い国とはいえ、赤い服を着たサンタクロース人形が出現します。クリスマスの飾り付けには皆さん熱心で、家庭や事務所などの扉にはヒイラギやポインセチアの飾りが取り付けられます。大きな事務所やマンションでは大きなモミの樹も出現し、その周りにはキリスト生誕を表現する瀬戸物の人形（母親のマリア、父親のホセ、赤ん坊のキリスト、東洋の三博士、その乗り物のラクダ、犬、ロバなど）が配置されることが多い。

通常、子供たちはクリスマスの日にはプレゼントをもらえません。年が明けて１月６日の夜に東洋の三博士が子供たちの寝ている間に運んでくるそうです。

大晦日から年が改まる午後 11 時頃、町中一斉にパンパンと花火の音が響き渡ります。音がうるさい！うるさい！　明けて翌日新年の１日は単なる休日で、普段の日曜日と変わらない静かな日となります。

我が家のトラブル（続き）

・内壁の塗装はげ：雨風が激しいと窓枠と壁の隙間から雨水がしみ込んできて、内壁の塗装がボロボロとはげ落ちます。修理の仕方が悪いのか、構造的なものか、何度塗り直してもボロボロ。根負けしてそのまま放置。

・クローゼットの雨水侵入：物置とはいえかなりの広さがある部屋に雨水が流れ込んできます。原因は外壁まで伸びている空気抜きの孔の出口が上向きで雨水は入り放題。

・入りロドアのセキュリティ：マンション入りロドアの開閉ガ自宅の部屋から遠隔操作できる優れものでしたが、すぐに壊れてしまった。修理で開閉装置は復活したもののモニターは生き返らなかった。

・金庫の鍵不良：金庫の鍵が合わなくなって開閉が不能となった。生活費が取り出せなくなって大騒動。直るまでの３日間買い物が出来なくなり、仲間から借金をする破目になった。

・台所のシンクの落下：同じマンションのお向かいの家での事件ですが、大理石で囲われた立派な台所のシンク（水ため）が突然落下した。

・ベランダ花壇の不備：我が家のベランダには灌木が植栽されたエリアがあるので、植物が枯れないよう水をやっていたころ、エリア内の水が抜けず池のようになってしまった。業者が植木と土を取り除いたところ、排水口がなく、エリアはコンクリートの箱となっていた。一方、我が家の向かいの家では、潅水した水が下の階に漏れ落ち、防水工事が悪かったよう。一体どんな工事をしているのだ！　施工業者は仕上がりの見てくればかりしか考えていなかったようにみえる。

病害虫講座

ブルーベリーの病害虫

木村 裕

果樹というより、樹木といった方がよいような感じのする果樹ですが、葉をかじる害虫がいろいろいます。

【クロケシツブチョッキリ】

春、新芽が開き若い枝が伸び始めたときに発生する害虫です。新しい茎の先が突然しおれて垂れ下がります。被害は日に日に広がり、あっという間に園全体の新梢が被害を受けることがあります。

犯人は頭の先がとがった黒っぽい小さな甲虫で、柔らかい新梢の基部に頭を突っ込んで齧るため、その部分から先が枯れます。

虫は被害部にペタッとへばりつき、かつ体が小さいので見つけることは困難です。被害を受けた新梢の下に白い厚紙を受け、新梢をゆするとコロッと落ちてきます。

サルスベリやバラ、ウバメガシなどでもよく発生します。

【ハマキムシ類】

数枚の葉を糸で綴り合わせて住処をつくり、その中に潜んで葉を齧ります。淡緑色のアオムシで、人見知りが激しくて住処の葉を開くとすばやく跳び下がって逃げだします。

チャハマキ、コカクモンハマキ、シャシャンボツバメスガなど数種類の虫が確認されていますが、被害症状はほぼ同じです。

被害に気付いたら、葉を開いて虫を捕まえるか、被害部全体を葉の上から指で押しつぶすかしてください。

【マイマイガ】

黒っぽい毛虫ですが、よく見ると背中には大小黄白色の斑紋のように見える毛束があります。周りの葉に手当たりしだいかぶりついて孔をあけ、サクラなどでは長い糸を出してぶら下がり、道行く人を「バア！」と驚かせるひょうきんな奴もいます。それゆえ、ブランコケムシとも言われています。

成長すると、私たちの人差し指くらいの大きさになり、体色は暗褐色ですが、青、橙、黄色などの毛束で装った美人になります。

皮膚の弱い人はかぶれやすいので、見つけ次第捕殺しましょう。手で触っても何ともない皮膚の丈夫な人がいますが、皆さんは触らない方が安全でしょう。

新ならやま投句箱

俳句

ずれし気象日本駆け抜く梅雨出水　阿部　和生
柿若葉はてさて今年の柿いくつ　古川　祐司
何探す右へ左へ山の蟻　菊川　年明
白薔薇の赤き新芽に一滴（ひとしずく）　豊田　治代
若緑に白きアマリリス埋もれけり　小島　武雄
ならやまの闇夜に光り飛ぶほたる　田中　善英
縁側の風鈴の音（ね）や夢の曲　羽尻　嵩
若葉風草引く手元通り抜け　國方　まり子
生け垣はパラソルだらけ五月晴れ　内河　洋文
洋館の壁に風情の藤枝垂れ　中井　弘
夏果樹や野良を染めたり虹の色　八木　順一
ほ、ほ、ぽっ暮れゆく川辺蛍舞う　高間　祥子
五月晴れ卒寿の今朝も畑仕事　藤原　勲
竹林に初々しきや今年竹　山本　美智子

新ならやま投句箱への投句有難うございます。今後ともよろしくお願いいたします。

短歌

棚の下ゆらーり揺れてる二季草　内河　洋文
日差しを避けて暫しまどろむ
大病し治る気持ちの喜びは　戸田　博子
大好きな先生いてくれたから
縁側で静かに咲いたカトレアの　谷川　雅邦
貴女を忍ぶ身代わりの花
紫陽花の葉陰で眠るかたつむり　清原　加代子
愛しき日々の夢を見るかも
紀寿を超え思えば米寿は若かった　千載　輝重
喜寿古希還暦まだまだ青春

川柳

犬の名で自己紹介する犬仲間　柳司
還暦だ凹んだ我に教えたい　古希楽し
96年前小5のおいらも田植えした　トラ吉
気に入らぬと撫ぜた背中を毛繕い　たけちゃん
故郷や今日も姦し不祥事で　順ちゃん
まだらぼけ家庭平和の効き薬　天然ボケ
バスツアー観光よりも道の駅　フランカー

次号締め切り　八月二十日　投稿先　田中善英　and5117@nifty.com

行事案内

公開イベント

夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！

奈良県主催の「奈良県山の日・川の日」に協賛して、県下の小学生児童とその家族に里山の大切さ素晴らしさを知っていただき、それを保全する活動を紹介するために「夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！」を公開イベントとして下記の要領にて開催いたします。

毎年好評なイベントで、申込者多数でお断りすることも多いことが惜しまれるくらいです。楽しいイベントとなっている背景には会員の皆さまのご協力があります。今回も精一杯楽しいイベントにしたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

記

1. 日時　７月 20 日（土）　10：00～15：00
   通常の雨天中止条件に加えて、熱中症特別警戒アラートが発せられた場合は中止とし、７月 27 日（土）に順延。
2. 場所　ならやま里山林
3. 概要
   10：00～　オリエンテーション
   10：30～　飯盒炊爨、カレーつくり
   13：00～　水生生物観察、里山遊び
   14：30～　里山の話など
   15：00　　終了予定
4. 参加費用　700 円/人（未就学児除く）
5. 募集人数　小学児童と家族あわせて 50 名
6. 申込方法　７月２日からメールにて受付

以上

担当：
清原、内河、飯島

奈良学クイズ

次の各問いにあてはまる神社仏閣について、お答えください。

【問1】 石段の最下部と最上部に 3 段ずつ写真のような亀甲や唐草、流水などを表した様々な文様が刻まれています。

【問2】 本殿の正面にある左右の柱に、写真のような葵の御紋が飾られています。

【応募要領】

締切日 ： ７月３日(水)

記念品 ： クラフト作品?!?!?!

Mail ：nara_suzuki_0824@yahoo.co.jp

2024 年 6 月度幹事会報告

開催日：5 月 28 日

Ⅰ．はじめに

新幹事による初めての幹事会であり、今後の会の運営に協力を確認

Ⅱ．会計・総務部より

・会員動向：会員数 132 名（家族 13 名）
退会 1 名

・会計：収支報告あり

Ⅲ．活動・行事関係に関する議題・懸案・確認

1．3 ヶ月活動スケジュール検討・確認

2．プロジェクト関係

・5/30 シニアの安全講習会

・6/6 協働活動：田植え、椎茸榾木本伏せ

3．イベント関係

・6/6 佐保台小田植え（30 名参加）

・6/27 春の感謝祭

・6/29 佐保台小放課後教室（ならやま）

・5/29～6/28 ボランティアインォメーションセンターパネル展にて会の紹介展示

・7/20　里山で遊ぼうイベントの内容について協議（次回幹事会で内容最終確認）

・イベント計画の担当については再調整

Ⅳ.広報関係

・会報誌 7 月号の編成について確認

・変更・スリム化されたＨＰについて各幹事が今一度確認のうえ次回幹事会にて公開すべき情報のあり方について最終確認する。

Ⅴ.報告・連絡事項・その他

・月例研修会
7/1(月)六甲山高山植物園（バス）

・自然教室
6/29 佐保台小放課後教室（ならやま）

以上

次回幹事会 6/25（火）中部公民館 14:00～

寝るとき大きめの半袖シャツとステテコを着ている。昔、裸で寝る快適さに目覚め、長年続けていた。阪神大震災で、災害時にさすがに裸ではまずいのではと、パジャマを着ようとしたが、どうにも寝心地が悪い。パジャマの形や素材を色々変えて試したが、どうしても合わなかった。

十年ほど前、思いついてステテコとシャツを試してみた。結構合って、それから室内着と兼ねて着ている。

子供の頃、夏になると男の大人はシャツとステテコを服の下に着て、旅行先でも、少しでもくつろげるような所では上着を脱いでいた。冷房が殆ど無かった時代、それが夏を快適に過ごす恰好だったのだろう。海外観光旅行が解禁になった頃、その習慣をそのまま持ちだし、飛行機内やホテルの廊下でステテコ姿になり、大ひんしゅくをかっていたことがあった。そんなことも理由の１つとして、ステテコは廃れてきたのだと思う。

今のステテコはカラフルで、一見普通の半ズボンに見え、ポケットが付いているのもある。最近、フィットネスジムでシャワーを浴びた後、ステテコとＴシャツの恰好で帰り、そのまま過ごし、寝るようになった。みなさんステテコを見直しましょう。

****

8 月ならやま活動&行事予告

＊ならやま活動　8/1 協働活動日
8/15 夏休み

発行：奈良・人と自然の会
URL ： http://www.naranature.com
編集代表 Mail: editor@naranature.com
編集委員：青木（幸）・尾崎・千載
田中（善）・戸田

表紙写真：みんなに見守られ、佐保台小学校の 5 年生が田植えをしています。